

## 第 39 回全日本少年サッカー大会茨城県大会実施要項

- 主 催： (公財) 日本サッカー協会 / (公財) 日本体育協会日本スポーツ少年団 / 読売新聞社 / (公財) 茨城県サッカー協会
- 主 管： 公益財団法人茨城県サッカー協会第 4 種委員会
- 後 援： 日本テレビ放送網 / 報知新聞社
- 特別協賛： YKK / 花王
- 協 賛： 日本マクドナルド / コカ・コーライーストジャパン / 日清オイリオグループ / ゼビオ / ゆうちょう銀行 / ベネッセコーポレーション
- 地区大会： 日程並びに競技形式は各地区にて決定すること。

### 《茨城県大会》

- 大会日程： 第 1 日目：11 月 8 日 (日曜日) 一次リーグ 県内 18 会場 (中 6、他 3)  
第 2 日目：11 月 15 日 (日曜日) 二次リーグ 中央地区内 3 会場  
第 3 日目：11 月 22 日 (日曜日) 三次リーグ 中央地区内 2 会場  
第 4 日目：11 月 29 日 (日曜日) 決勝リーグ カシマサッカースタジアム予定
- 参加資格： 1) こくみん共済リーグ U-12 に参加していること。  
2) 平成 27 年度日本サッカー協会第 4 種に登録 (団体・選手共) 済みで地区大会において本大会の出場資格を得た 68 チーム。  
県東：8 県西：13 中央：19 県南：20 県北：8  
2) 第 42 回茨城県学年別少年サッカー大会の上位 4 チームをシードする。  
水戸ホーリーホック EIKO ジュニア 那珂 FC ジュニオール  
エスペランサ総和 FC 下妻 FC 1984  
3) エントリー選手は 20 名以内とする。ただし、6 年生のみで 20 名を超えると  
きの登録は認める。  
4) 地区大会から県大会に至るまで同一参加選手が異なる「加盟チーム」への移  
籍後、再びこの大会に参加することはできない。  
5) 有資格審判員を 2 名帯同できること。  
6) スポーツ傷害保険に加入済みであること。  
7) 本大会の参加については、親権者または、保護者の承諾済みであること。
- 競技形式： 第 1 日目：18 ブロック (4 チームを 1 ブロック) により一次リーグ戦を行い、  
各ブロックの第 1 位チームが第 2 日目の二次リーグに進む。  
第 2 日目：6 ブロック (3 チームを 1 ブロック) により二次リーグ戦を行い、  
各ブロックの第 1 位チームが第 3 日目の三次リーグに進む。  
第 3 日目：2 ブロック (3 チームを 1 ブロック) による三次リーグ戦を行い、  
各ブロックの 1 位と 2 位が決勝リーグに進む。  
第 4 日目：決勝リーグは 4 チームのリーグ戦とする。ただし、三次リーグで対  
戦済みの試合は行わず、結果は決勝リーグの結果として扱い順位を  
決定する。
- 順位決定： リーグ戦の順位決定は、勝ち点 (勝ち 3 点・負け 0 点・分け 1 点) の多いチーム  
を上位とする。  
(1) 勝ち点と同じのときは次の順により決定する。  
①得失点差の多いチーム ②総得点の多いチーム  
③当該チーム同士の対戦成績 ④PK 方式

の順とする。ただし、PK方式は2チームの時行い、それ以外は本部立会いの上抽選で決定する。

(2) リーグ戦において同点の時は引き分けとし、延長戦は行わない。

競技規則： 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会「8人制サッカールール」による。但し、本要項に定められている事項を優先する。

- 1) フィールドの大きさ：68m×50mを基本とする。
  - ペナルティーエリア=12m
  - ペナルティーマーク=8m
  - ペナルティーアーク=半径7m
  - センターサークル=半径7m
  - ゴールエリア=4m
  - ゴールの大きさ=少年用(W5m×H2.15m)
  - 交代ゾーン(ベンチ側)=ハーフウェーラインから左右3m
- 2) 審判員：1人の主審によって運営する。補助審判員1名を指名する。
- 3) キックオフからの直接ゴールは認めない。
- 4) 試合時間：40分(前後半各20分)、但し、一次リーグは30分とする。
- 5) ハーフタイムのインターバル：原則として5分(前半終了から後半開始まで)
- 6) 試合毎の選手数：16名
- 7) 交代できる選手数：8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。  
(交代要員はユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用すること。)
- 8) 競技者が交代要員と交代する場合、次の通り行う。
  - ・交代が行われることについて、事前に審判員に通知する必要はない。
  - ・交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。
  - ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
  - ・交代は、ボールがインプレー中またはアウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
  - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入れ替わることができる。
- 9) ベンチに入ることの出来る人数：11人(交代要員8人、役員3人)
- 10) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場できる人数：2名以内
- 11) 警告 ①警告処分：本大会の異なる試合で警告を2回受けた者は次の試合に出場できない。  
退場 ②退場処分：次の試合に出場できない。以後の処置は4種規律委員会に委ねる。
  - ・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
  - ・本大会の規律委員会は(公財)茨城県サッカー協会第4種の5地区委員長で組織する。
- ③退席処分：ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、会場内にいることを認めない。  
その後の処置は本大会の規律委員会に委ねる。
  - ・本大会の規律委員会は(公財)茨城県サッカー協会第4種の5地区委員長で組織する。

- 13) 競技者数：本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。そのチームは【0対5】の負けとする。試合中に8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

- ユニフォーム：1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正のほかに副として、正と色彩の異なり判別しやすいユニフォームを用意し、各試合に必ず携行すること。フィールドプレーヤーがゴールキーパー時に着用するビブスも同様とする。
- 2) フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームにビブス着用での対応を可とする。ただし、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。
- 3) その他の事項については（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に従うものとする。

- 参加申込： 「エントリー用紙」に必要事項を記入し抽選会当日に2部提出すること。  
「個人情報及び肖像権利用に関する同意書」を提出すること。  
※JFA登録番号は必ず記入すること。  
※抽選会に欠席の時は棄権とする。

- 抽選会： 平成27年10月31日（土曜日）（受付は午後1時30分～2時まで）  
小美玉市生涯学習センターコスモス（旧玉里総合文化センター）  
小美玉市高崎 291-3 TEL0299-26-9111  
※抽選会には、監督若しくはコーチの出席をお願いいたします。

- 表彰： （公財）茨城県サッカー協会による次の表彰を行う。
- 優勝：表彰状、トロフィー、記念メダル  
準優勝：表彰状、トロフィー、記念メダル  
第3位：表彰状、トロフィー、記念メダル  
第4位：表彰状、盾、  
優秀選手賞（20名）：表彰状、記念品

- その他： 1) チームはエントリー選手の選手証（写真貼付されたもの）を試合会場に持参すること。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
- 2) 第1試合競技開始時間の50分前に代表者ミーティングを開催する。代表者ミーティングに於いて選手証の提出、帯同審判員の確認、競技規定の確認、ユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。
- 3) 試合球は公認4号球とする。大会2日目以降の試合球はモルテン社製（F4V5000）とする。
- 4) メンバー表は各試合開始30分前までに1部提出すること。
- 5) 主催者側は大会中の事故、けが等について一切の責任は負いません。
- 6) この大会の優勝チームは下記大会への出場権を与える。  
第39回全日本少年サッカー大会決勝大会  
期日：平成27年12月25日～12月29日  
会場：鹿児島ふれあいスポーツランド、鹿児島県立鴨池陸上競技場

- 問合せ先： （公財）茨城県サッカー協会第4種委員会 事務局 小川憲一  
TEL：029-228-6645 携帯TEL：090-2746-7951